



「ささささささ」のころ。



ガバナー通信

NO.12

国際ロータリー第2620地区
2021-2022年度ガバナー

小林 聡一郎



ガバナー挨拶

知り合いほどソツケなくもなく、友人ほど近くもなく、程よい間柄を保ちながら互いを尊重できる関係。ロータリアン同士の付き合いはそんなところでしょうか。もちろん真の友人ともなれば家族同士の付き合いにもなっていて、楽しみの幅も広がっていくケースもあるでしょう。お酒も一緒に旅行も一緒となれば、ウマがあった以上の心の友などと呼びたくなる間柄になります。

ロータリーはよくできた仕組みで、仲良くなれる仕掛けがたくさん用意されています。クラブの委員会もそうです。毎年度委員会構成が入れ替わり、知り合う機会も増えますし、何かの奉仕活動を一緒に計画、準備することも互いの理解に役立ち、仲間意識も育まれて心が知れた間柄にもなります。

その範囲がさらに広がるのが、地区委員会です。地区には現在77クラブがあり、それらのクラブから地区に出ていますので、知り合いも広範囲になります。またR.L.I.という研修機会もあります。年齢もロータリー歴もまちまちのロータリアンが6〜7人程度で、50分程度、1つのテーマについて話し合います。学ぶとともに知己を得るきっかけにされたいかがでしょうか。

「知己とは何か。それは《心の友》のことである。クラブ活動を通して心の境地が高まる。その高い境地に達した者同士の間で通いあう友愛心の交流のことをいう。(中略)有徳の士というものは、互いに何も求めずしてすでに和合する。自己を誇示することなく周囲を教化する」(小堀憲助「ロータリー思想の理論構造」)。

改めて親睦などと言わずとも、心の友であれば、すでに互いが諒解して和合するものです。それを親睦と呼ぶ人もいます。お酒の席の楽しさは違ふ、心の交流を親睦と呼んでいるのです。それにはまず、例会を主体としたクラブ活動を通して学び、自己啓発の機会として、互いに向上していく機能がクラブに備わっていると認識しなければなりません。

「ささささささささささささささささ」。季語はありませんが、これ俳句です。井上ひさし他2名脚本の「ネコジャラ市の11人」という人形劇で主役のパンチョ・ホーホケ卿が披露したのですが、これを聞いても相手はまったく意味が分からない。パンチョの解説では「大切な友人が来訪した時の句で、『さあどうぞ、さあさあさあ』と家上げる時の様子を詠んだ句だと言います(山梨日日新聞 さよりの言葉)。中七文字の区切りを「さささ ささささ」と読むか「ささささ さささ」と読むかで情景が変わってくるようにも思えるのですが、友人を氣遣う雰囲気はお分かりになるのではないのでしょうか。

お互いが「ささささささささ」と自分の心を許す範囲に誘い合っていて、心の交流をこれからも続けていきたいと思います。

一年間ガバナー月信をお読みくださりありがとうございました。今月末日をもって次年度にバトンタッチいたします。会員の皆さまにおかれましては、これからもクラブを愛し、ロータリーライフをエンジョイし、人々の人生を豊かにするために活躍ください。そしてロータリアンとご家族、学友やアクトの皆さんと一緒に作る大きな輪で、日本を、世界をつなぎ合わせて、ロータリーが理想とする世界に向かっていきましょう。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

[国際ロータリー第2620地区 ガバナー月信 2022.6/ロータリー親睦活動月間号]

地区運営ビジョン

ロータリーの中核的価値観をロータリアンの行動に変換する。



地区戦略ビジョン

元気で魅力があり地域で存在感のあるクラブを目指してロータリーの価値を高めよう。

地区大会

地区大会を5月21日(土)に甲府記念日ホテルで、22日(日)にYCC県民文化ホールで開催し、地区内外の多くの皆様にご出席いただきました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、何とか無事に2日間のプログラムを終えることができました。不行き届きの点もあったと思いますが、ご容赦ください。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。地区大会を写真で振り返ります。(地区大会実行委員会)

写真撮影:浅原浩二(甲府北RC)



受付の様子



ソングリーダー 甲府シティRC 深澤壽会員



開会の言葉 五味正好実行委員長



小林聡一郎ガバナー挨拶



辰野克彦RI理事挨拶

大会四委員会報告



登録委員会
志田委員長



資格審査
委員会
野口委員長
代理



選挙委員会
星野委員長



大会決議
委員会
松村委員長



地区委員長・副委員長、会長・幹事会=甲府記念日ホテル「桃源」



グループ内クラブ活動報告



地区10委員会報告



各種表彰



米山梅吉記念館 松村友吉理事長挨拶



RI理事歓迎晩餐会

エクスカーション 山梨県立文学館・美術館を巡りました。



参加者:小林DG令夫人瞳様 積PDG令夫人邦子様 志田PDG令夫人江美子様
浅原DGE令夫人敦子様 同行:樋笠恵子・漆原栄彦(甲府北RC)

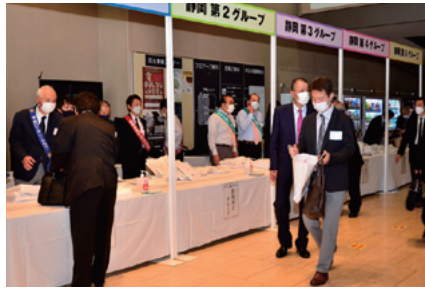


写真撮影:漆原栄彦(甲府北RC)

5月22日(日)地区大会2日目 YCC県民文化ホール



午前開催の地区指導者育成セミナー



登録受付



武田信玄公がお出迎え



ソングリーダー 甲府シティRC 深澤壽会員



歓迎の言葉 甲府北RC 鈴木信行会長



ロビー展示

ロータリー川柳

IAC壁新聞



渡邊和彦山梨県副知事祝辞



樋口雄一甲府市長祝辞



進藤中甲府商工会議所会頭祝辞



表彰 90歳正会員 30年以上100%出席 35歳以下会員



辰野克彦RI理事講話



丸島和洋氏の記念講演



ポール・ハリス・ソサエティ入会



青少年交換学友近況報告



青山チャリット米山学友会長



山本有輝RA地区代表



新クラブ紹介



地区大会旗引き継ぎ



決議事項実施



小林ガバナー謝辞



閉会の言葉
中尾均地区幹事

DO MORE ☆ RID2620 TOPICS

富士吉田RC設立60周年記念式典



富士吉田RC創立60周年記念式典を4月17日(日)、ホテル鐘山苑で開催いたしました。コロナ禍ということもあり、規模を縮小した形での開催となり、会員ら約60名が参加しました。来賓として小林聰一郎ガバナー、スポンサークラブの甲府RCの佐々木宏明会長、山梨第1グループ奈良正男ガバナー補佐よりご祝辞を頂き、中尾均地区幹事、第1グループの富士吉田西RC宮下好文会長、河口湖RC渡邊良孝会長、山中湖RC羽田昌弘会長、大月RC星野玄喜会長、都留RC奥秋公大会長にもご臨席を賜りました。

式典では、感謝状の贈呈や60周年記念事業の報告を行いました。記念講演では、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議委員であり、日本医師会常任理事の釜谷敏先生の新型コロナウイルス感染症の直近の状況についてご講演いただきました。

記念祝宴では、感染症対策を十分配慮した上で、席の移動、お酌の中止、マスク会食を心掛け、厳粛な雰囲気の中で美味しい料理と飲み物を楽しみました。

60周年記念式典が無事開催できたこと、今までご支援ご協力をいただきましたロータリアン、関係者の皆様に改めて感謝の意を表します。最後に、ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

(富士吉田RC会長 渡辺秀昭)

三島RC創立65周年記念例会・式典・祝宴

三島RCは今年度創立65周年を迎え、5月1日(日)に三島プラザホテルで創立65周年記念式典を開催しました。現在、わがクラブには6名の女性会員が在籍し、65年というクラ



ブの歴史と伝統の中で渡邊脩助ガバナーを輩出し、チャーターメンバーの勝又一郎君も現役で出席を続けています。それを継承しつつ、時代に沿ったクラブ運営を行っていくために、今期65周年記念例会は今までの記念事業の見直し、そして70周年に向けて新しい一歩を踏み出すための例会にしたいと考えました。

式典では、物故会員への黙祷、西原孝次65周年実行委員長の挨拶と事業報告、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付の贈呈、永年在籍会員の表彰と続きました。当日は小林聰一郎ガバナー、中尾均地区幹事、松井大英ガバナー補佐、スポンサークラブの沼津RC實石学会長、大友保志幹事、また近隣クラブの会長幹事にご臨席を賜り大変温かいご祝辞を頂戴し、出席はかないませんでした。姉妹クラブの大社RCからは紅白のワインを頂戴しました。会員は一致団結してさらなるクラブ運営・奉仕活動の充実に向け励んでいきたいとの思いを強くいたしました。また、ご来賓方に喜んでいただけるようなお料理をとのリクエストに三島プラザホテルが応えてくださり、出席者には美味しい料理を堪能していただき、和やかな楽しい例会となりました。次の創立70周年に向けさらなる飛躍をと決意を新たに「佳い」例会となりました。

(三島RC会長 山田敏博)

静岡日本平RC創立50周年記念式典

静岡日本平RC創立50周年記念式典及び祝賀会を5月1日(日)、ホテルアソシア静岡にて開催致しました。ゴールデンウィークのご多用のところ、静岡市長の田辺信宏様、ガバナーの小林聡一郎様、パストガバナーの志田洪顯様、静岡第3グループガバナー補佐の八木伸廣様、地区幹事の中尾均様、ガバナー補佐事務局の望月重伸様をはじめとする来賓の皆様や会員OB、会員ご家族総勢80名のご臨席を賜りました。

新型コロナウイルスの影響で2度延期を余儀なくされ、今回の開催も危うい状況でしたが人数を抑え、コロナ対策を講じてなんとか無事に開催に漕ぎ着けました。

式典は16時より開会の点鐘で始まり、洞江50周年実行委員長の開会挨拶、来賓のご紹介、物故会員への黙祷の後、私の挨拶と続き、来賓を代表して田辺市長と小林ガバナーにご祝辞を頂きました。100%ポールハリスフェロー・クラブ認証発表を行い、創立50年のあゆみのスライドショーを司会のアシスタントをして頂いた小沼みのりさんのきれいな声でナレーションをしてもらいました。その後50周年記念事業を洞江委員長が発表、清水副会長が閉会の挨拶を致しました。第2部の祝賀会はウェルカムミュージックとして、清水副会長がチェロの演奏で皆様をお迎えし、長島直前会長の挨拶で始めました。乾杯をスポンサークラブの静岡南RCの田中会長にお願いし、アトラクションとして望月会員のシャンソンや50周年記念ソング「はじまりの鐘」を山内会員とデュエットでご披露し、プロシンガーのカタリンさんやピアニストの小林ちからさん、ベーシストの店網邦雄さん達の思いのこもったステージで盛り上がり、式典とは違ったアットホームな雰囲気の楽しいパーティーとなりました。

最後に、式典の司会も担当した栗原幹事より閉会の挨拶をさせていただき、全日程が無事に終了致しました。メンバーがそれぞれの役割をしっかりと努め、一丸となって手作り感のある楽しい50周年記念式典、祝賀会になりました。

この場をお借りして、ご来賓の皆様、メンバーの一人ひとりに改めて感謝申し上げます。
(静岡日本平RC会長 中村憲司)



甲府シティRC創立30周年記念例会

甲府シティRCは、5月20日に創立30周年を迎えるにあたり、5月15日(日)、ホテル談露館において記念例会を開催いたしました。例会には、小林聡一郎ガバナー、中沢龍雄ガバナー補佐、山梨第2グループ・甲府市内9クラブの会長を初めとする多数のご来賓・ご招待者のご臨席を賜ることができました。

当日は、例会セレモニーにおいて、来賓を代表して小林ガバナーからお祝いと激励のお言葉をいただいた後、ロータリー財団・米山記念奨学会等への記念寄付の贈呈を行いました。また、当クラブが東日本大震災の被災者支援活動を継続事業としてきたご縁で、周年記念事業として実施した福島県庁への表敬訪問、復興状況の視察旅行の報告を行いました。

その後、講師の長谷川幸洋さんによるウクライナ情勢をめぐる記念講演を実施し、引き続き、記念食事を開催いたしました。今年度は「家族への奉仕」を活動目標の1つとしてきたため、いずれも会員家族に参加いただき、ともに楽しいひとときを過ごしました。

今年度の当クラブのテーマは「三十而立」です。これまで培った30年間の経験や実績を基礎に、さらなる発展に向けた第一歩を踏み出していきたいと思っております。地区大会を直後に控えた時期にもかかわらず、ご出席いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

(甲府シティRC会長 吉澤宏治)



米山梅吉記念館春季例祭

まず初めに、平素、米山梅吉記念館への心こもるご支援を感謝いたします。

去る4月23日(土)、コロナ発生より中止いたしました春季例祭が挙行政されました。松村新理事長の下、運営委員のご活躍で素晴らしい例祭が執り行われました。講師には、富士山世界遺産センター館長・元文部科学大臣・遠山敦子氏をお迎えいたし「富士山と日本人」と題してご講演いただきました。日本にとっても日本人にとっても富士山は世界に誇れる山であり、また日本の象徴であります。講演の中では、山岳信仰の山としての人々との係りをお話されておりました。静岡県、山梨県の両県には、富士山の噴火を鎮めるために遥拝所として浅間神社を建設されたことなど詳しくお話されておりました。

このように春季例祭も滞りなく行われ、館も大きく改革され日本のロータリアンの聖地として全国展開されていくことと思います。どうぞロータリアンの皆様、これからも温かいご支援ご協力をよろしく願い申し上げます。(米山梅吉記念館委員会委員長 外川正知恵／河口湖RC)



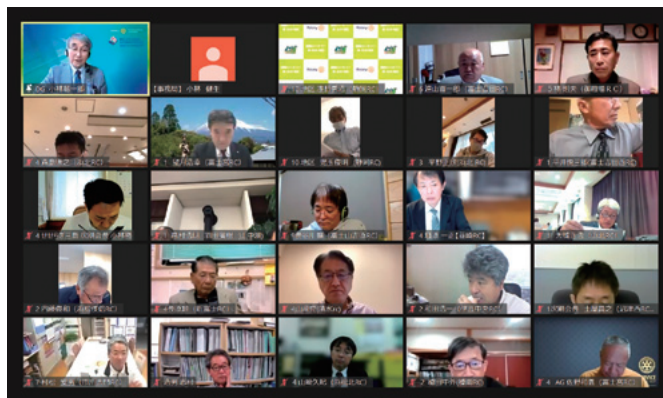
地区研修・協議会



ジェニファー E.ジョーンズ
RI会長エレクト



浅原諒蔵
ガバナーエレクト



4月24日(日)、地区研修・協議会が開催され、小林聡一郎ガバナー、浅原諒蔵ガバナーエレクト、安間みち子次期研修委員長、中村皇積ガバナーノミニーをはじめ、地区役員・委員や登録義務会員等、総勢800名以上が出席されました。

小林ガバナーから「コロナ禍での不自由や世界的情勢の変化に対応しながらも、前を見て進もう。私たち自身がクラブの意見を聞き、変わっていきましょう。」、そして浅原エレクトから「ロータリーブランドの価値が高まることで仲間は増える。絆を深め、Diversity(多様性)Equity(公平さ)Inclusion(あらゆる人を歓迎、尊敬)を推進しましょう」とご挨拶がありました。安間次期研修委員長は「会員増強を推進するうえで女性会員の受け入れにまだ課題がある。クラブ内でリーダーシップを発揮し、変化に対応してほしい。この研修にもアイデアのヒントがあるはず」とご指導されました。

分科会報告では、それぞれ活発な議論がされた旨に加え、委員会のメンバーがクラブの卓話に積極的に参加するという前向きで心強い声が多く聞かれました。

なお、今回は大規模なオンライン(Zoom)方式にて行われ、今後につながる課題が明らかになるなど、コロナ禍による環境変化に対応した素晴らしい地区研修・協議会になりました。

(次期副幹事 稲葉雅之／伊東西RC)

第9回全国インターアクト研究会

4月24日(日)午後1時半より2年ぶりの第9回全国インターアクト研究会が、RI第2590地区(横浜市・川崎市)をホストに行われました。メイン会場は主催関係者がリアルで、他地区はズーム参加により行われ、主催者の発表では約1,100名が参加し、当日は、当地区の地区研修・協議会とバッティングしたにも拘わらず、当地区からも学校関係者・ロータリアンの86名にご参加いただきました。

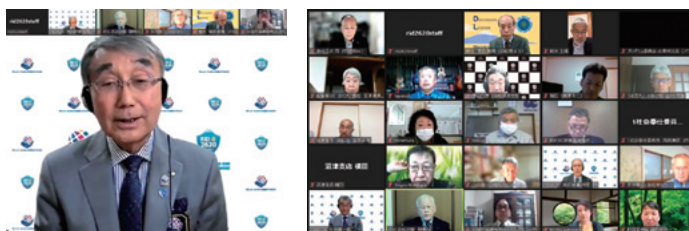
今回の研究会の大きな柱は、全国各地の動画によるインターアクト活動報告(各校3分以内)がパートIとパートIIに別けて紹介され、我が地区代表校の甲府城西高校も紹介されました。学校名だけでは、何県なのか分からない学校がほとんどでしたが、それぞれのインターアクトクラブのアイデアに富んだ、工夫を凝らした活動が目を引きました。広島県福山市の英数学館中高生のインターアクトクラブの生徒の発案で、カカオ農園で働くガーナの子どもたちを支援する募金活動を「チョコ募金」と名付け、クラウドファンディングの手法で寄付を呼び掛けた活動を行った事例もありました。

コロナ禍の状況で制約が多くても、インターアクターが、知恵を絞って「できること」を模索し、地道な活動に結びつけている姿勢は、素晴らしく頼もしく明るい未来を予感させるものでした。

Zoomながら初めて全国研究会に参加して、国内各地区代表校の取組みに短時間でしたが触れることができた、中身の濃い2時間半でした。

なお、次年度の研究会は、2023年4月22日(土)に「四国版おせったいの発信」と銘打って、香川県高松市で開催される予定です。(インターアクト小委員会委員長 雨宮俊彦/甲府RC)

地区奉仕活動委員会セミナー



地区奉仕活動委員会セミナーを4月29日(金・祝)にZoomで開き、約290名の皆様にご登録いただきました。クラブによりましては、1会場に集まり同セミナーを楽しまれるケースもありました。前半の「ロータリーを学ぼう」では講師に元RI理事の松宮剛氏を講師に招き、「ロータリーとは何か?」についての視点を学ぶ機会と

なったほか、高野孫左エ門パストガバナーに「RIが考える今のロータリーとこれからのロータリー」と題した講演を行っていただきました。また、RLIディスカッションリーダーの堀部莞爾氏に「私の考えるロータリー」についてお話をいただきました。

後半の「奉仕活動につなげよう」では、ロータリー奉仕デーの取り組みを静岡RCの谷本宏太郎会長にお話しいただいたほか、小林聡一郎ガバナーがロータリー奉仕デーについて、ロータリー財団委員会の望月啓行副委員長にグローバル補助金の活用の説明をしていただいたほか、ロータリープログラム委員会の小澤邦比呂委員長にインターアクトおよび青少年交換事業についてお話をいただきました。多岐にわたる内容で、有意義な時間となりました。ご協力いただいた皆様、ご出席いただいた皆様に深く感謝申し上げます。(地区幹事 中尾 均/甲府北RC)

第5回地区戦略計画委員会・第5回地区諮問委員会

第5回地区戦略計画委員会・第5回地区諮問委員会を5月14日(土)、甲府市の湯村常磐ホテルで開催いたしました。志田洪顯パストガバナーからRI規定審議会報告、野口英一パストガバナーからロータリーコーディネーター研修報告を行ったほか、地区大会スケジュールや、次年度地区運営についての進捗状況の説明と報告などを行いました。



懇親会では、ガバナー章、地区幹事章の引き継ぎなどを行い、大変有意義な時間となりました。

(地区幹事 中尾 均/甲府北RC)

お知らせ

◆ウクライナ人道救援金報告

ロータリー財団は、深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、世界中のロータリー会員が寄付することのできる正式な窓口として「災害救援基金」を指定しました。クラブは直接ロータリー日本財団へ送金することができますので、直接日本財団へ寄付されたクラブもあることと存じます。地区を通してロータリー災害救援基金への送金を希望されるクラブの寄付を、4月21日まで受け付けました。45RCと1会員、元会員などから地区へ寄せられたウクライナ人道救援金は386万円4858円でした。4月27日に公益財団法人ロータリー日本財団へウクライナ人道支援救援金として送金いたしましたことをご報告させていただきます。

◆会員増強・維持に努めましょう!

当地区2021～2022年度の期首会員数(7月1日入会者含む)は2820名。4月末会員数は2842名です。引き続き、会員増強・維持に努めましょう。

◆ロータリー財団への寄付

5月末現在、ロータリー財団への寄付ゼロクラブが3RCあります。お早めに対応いただけますようお願いいたします。

◆ MyROTARY登録状況 ◆

2022年5月27日現在の地区内RCのMyROTARY登録状況は下記の通りです。
地区目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

100%登録RC

4RC

90%以上登録RC

16RC

80%以上登録RC

4RC



70%以上登録RC

4RC

60%以上登録RC

5RC

50%以上登録RC

10RC

あと少し!

◆地区大会落とし物について

地区大会2日目YCC県民文化ホール大ホールの6列目33番の席にグレーのハンカチ(写真)のお忘れ物がございました。お心当たりの方は、ガバナー事務所へお知らせください。



◆ガバナー月信最終号(13号)について

ガバナー月信最終号(13号)を7月初旬に発行いたします。ガバナー月信送付先に送らせていただきます。よろしくお願いたします。

発行:ガバナー事務所

〒400-0072 山梨県甲府市大和町1-53-2F TEL/FAX 055-270-1004
E-mail 21-22g.kobayashi@ri2620.gr.jp URL <https://www.ri2620.gr.jp>

